



新製品 コラロン

ウルチポアⅢからコラロンへ：フィルター性能をアップグレード

流体をより清浄に、より長く使用するために

コラロンはウルチポアⅢフィルターと同じ形状・寸法なので、簡単に置き換えることができます。また、流体適合性や使用温度範囲も同じです。

コラロンで作動油・潤滑油を清浄に維持することで、より確実な油圧・潤滑機器の保護を実現できます。

特長

- ウルチポアⅢフィルターのハウジングに装着可能
- 最新のメディア構造
- 流量/圧力変動などのストレスに強いメディアの採用
- 外 → 内流れ

革新的なフィルター性能

ボールの新しい油圧・潤滑フィルターであるコラロンは、流量/圧力変動などのストレスに強いメディアを採用しており、卓越したフィルター性能を持っています。

- 流量－圧力損失特性に優れ、フィルターの小型化・長寿命化が可能
- フィルター寿命が尽きるまで安定したろ過性能を発揮し、システム流体を安定して清浄に維持

その他の特長

- コラロンは、ウルチポアⅢ、コアレス・ウルチポアⅢ、ウルチポア・ダートフューズ、ウルチポアSRT、ウルチポア・ブラス、ウルチポアMax及びRED1000の各フィルターエレメントと互換性があります。
- コラロンの製品型式は、上記の既存フィルターエレメントのメディアグレードを示す“U”, “D”, “K”, “M”, “X” を “C” に置き換えるだけです（右の例をご参照ください）。



コラロンの製品型式例

既存フィルター	コラロン
HC9600FKP8Z	HC9600FCP8Z
HC9601FDP13Z	HC9601FCP13Z

製品型式はエレメントの底（クローズドエンドキャップ）に印刷されています。

ウルチポアⅢ
フィルター
アセンブリーを
ご使用の場合



フィルター性能のアップグレードで、より一層の機器の保護とコスト低減を
コラロンへの置き換えで

- 流体清浄度が改善
- 安定した流体清浄度を維持
- 圧力損失を低減
- ハウジングはそのまま使用可

✓ エレメント価格は同じです

- ✓ 清浄度改善効果（2倍）
 - ✓ 流体清浄度の安定化（2倍）
 - ✓ 最大で5%のろ過コストの低減
- 油圧・潤滑装置の運転コスト削減に貢献します。

ウルチポアⅢ
ハウジングで
他社製フィルター
エレメントを
ご使用の場合



フィルター性能のアップグレードで、機器保護の改善とコスト低減を
コラロンへの置き換えで

- 流体清浄度が改善
- 安定した流体清浄度を維持
- 圧力損失を低減
- ハウジングはそのまま使用可

✓ 悩む必要はありません

- ✓ 清浄度改善（～15倍）
 - ✓ 流体清浄度の安定化（～16倍）
 - ✓ 最大で20%のろ過コストの低減
- 油圧・潤滑装置の運転コスト削減に貢献します。

仕様

エレメントつぶれ圧	: 1.0 MPa
使用温度範囲	: -29 °C~120 °C*
シール材	: フッ素ゴム, ニトリルゴム
流体適合性	: 鉱物油, 水グリコール作動油, 水/油エマルジョン, 一般工業用 リン酸エステル, 脂肪酸エステル
使用材料	: コアとエンドキャップに防錆処理鋼板 コアレスエレメントでは、樹脂製エン ドキャップ

*水グリコール作動油などの高含水率流体では60°C以下でご使用ください。

コラロンは、確かな製造手順と厳格な品質管理の元、ポールで製造しています。フィルターエレメントは以下に示す試験法で評価を行っています。

- 除粒子性能：
 - 流体清浄度安定度評価：CST (SAE ARP4205)
エレメント差圧が最終差圧の80% (80% Δp) に達した時点での2次側清浄度をISO清浄度コードで表記 (表1参照)
 - 定格ろ過精度：マルチパステスト
(JIS B8356-8/ISO 16889)
 $\beta_{x(c)} \geq 1,000$ となる粒径を定格ろ過精度として表記
- エレメントつぶれ圧：JIS B8356-3/ISO 2941
- 流体適合性：JIS B8356-4/ISO2943
- 流量-圧力損失特性：JIS B 8356-7/ISO 3968
- 流れ疲労特性：JIS B 8356-6/ISO 3724
- 組立完全性：JIS B 8356-2/ISO 2942

実使用条件を考慮したストレス下でのフィルター性能評価—CST (Cyclic Stabilization Test, SAE-ARP4205)

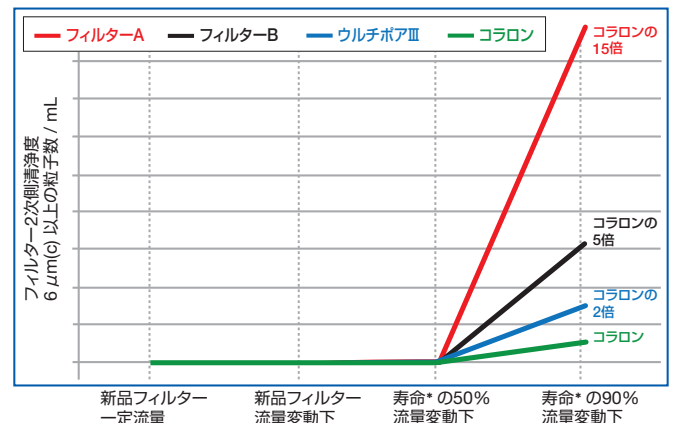
実使用条件下では、フィルターは、流量変動や低温起動、衝撃、振動などのストレスにさらされています。これらのストレスにより、フィルター性能は低下します。そこで、CSTでは実使用条件を考慮し、流量変動下でのフィルターの異物捕捉及び保持性能を評価します。また、CSTではフィルター性能表記を、フィルターが実現できる流体清浄度として、フィルター2次側の流体清浄度をISO清浄度コード (JIS B 9933/ISO 4406) で表しています (表1参照)。

表1. コラロンのフィルター性能

メディアグレード	CSTにおける80% Δp [*] での フィルター2次側清浄度 (ISO清浄度コード)
CZ	ISO 10/08/03
CP	ISO 12/09/07
CN	ISO 14/11/06
CS	ISO 15/11/06
CT	ISO 16/14/08

*:最終差圧を 0.41MPa とした試験結果に基づく

コラロンの優位性



*: 時間基準のフィルター寿命

フィルター性能を評価する際には、フィルター寿命全体に渡って評価することが重要です。上記グラフでは、ろ過精度が同等の他社製フィルター (AとB) とウルチポアⅢフィルターを定格ろ過精度7 μm(c)のコラロンと比較したものです。いずれのフィルターも初期性能は高く、良好な流体清浄度を達成できました。しかし、フィルター寿命末期においても、良好な流体清浄度を維持できるのはコラロンだけでした。



〒163-1325 東京都新宿区西新宿 6-5-1

メカトロニクス 事業部 TEL.03(6901)5790

エアロスペース 事業部 TEL.03(6901)5860

エナジー事業部/ワージェネレーション TEL.03(6901)5770

カートリッジフィルターの ご用命承ります！

カートリッジフィルターのご案内

フィルターによる
問題解決をお手伝い
させていただきます。

日本ポール(株)の販売店として活動させて頂いております(株)エーティーエーと申します。
液体・気体のろ過用カートリッジフィルターのご用命がございましたら、是非お問い合わせください。まずはお気軽にご相談頂けると幸いです。

カートリッジフィルター



フィルターハウジング



フィルターハウジング



弊社のココが特徴・その1

日本ポール(株)販売店

カートリッジフィルター業界最大手の日本ポール社の販売店をさせて頂いております。
お客様の問題・課題について、日本ポール社の営業に代わり、コンサルティングさせていただきます。

弊社のココが特徴・その2

ろ過テスト

フィルターのろ過精度等を決定するために必要な、ろ過テストの実施を承っております。
ろ過テストを実施することで、理想的なフィルターを選定するための検討が可能となります。

弊社のココが特徴・その3

フィルター勉強会

販売店様、エンドユーザー様を対象とした個別フィルター勉強会を承っております。
フィルターの知識を深めて頂くことで、お客様の品質改善・工程改善のきっかけになれば幸いです。

弊社のココが特徴・その4

フィルターコンサルティング

その他フィルターにつきまして、納期の課題からコスト見直しまで何でもご相談ください。
様々な液体用、気体用のフィルターにつきまして、型式等よりご提案が可能かをお調べさせていただきます。

※本チラシの内容は 2021 年 7 月 現在のものです。

お問い合わせ先

株式会社エーティーエー

大阪府大阪市西区立売堀 4 丁目 5 番 27 号 シティビル阿波座 7F

TEL:06-6110-7603 (代)

FAX:06-6110-7604

<http://www.ata-filter.co.jp>